

みあさ美づくり通信 No.45

北アルプスを望む麻の里 Miasa Community Design 2014年6月号



Mendocino
Sister city
exchange 2014

訪問団の組体操にK-8スクールが熱狂！

今年で12回目となる訪問団が、5月16日から8日間、姉妹都市メンドシーノを訪問し交流を深めました。

メンドシーノ訪問を終えて

最初に、無事帰国できたことと、同行していただいた引率者の協力に感謝いたします。

今回の訪問は、初めてL A空港で国際線と国内線の乗換を行うことになり、税関審査や入国審査、移動時間が長くなることによる、子どもたちの健康状態等を懸念しましたが、大きな問題はなく、また、メンドシーノでの滞在の間も子どもたちはとても元気で（若干？のトラブルはありましたが）たくましくみあさっ子に感服です。

朝、元気よく挨拶してくれる子どもたちの笑顔でリフレッシュ。有意義な交流を行うことができました。

交流やホームステイでは、メンドシーノの皆さんの相変わらずのボランティア精神に触れ、只々敬服するばかり。いただいた親切は、次年度お迎えする時には必ずお返ししようと改めて思いました。

7月中には、訪問報告会を計画していますので、大勢の皆様参加をお願いします。終わりに、交流事業を支えてくださったすべての方にお礼申し上げます。

(2014訪問団長 細井 忠)





初めての土曜日開催となりましたが、天候にも恵まれ、老いも若きも参加をいただき、地区住民のさらなる親睦と絆を深めることができました。



チームワークを大切にした「むかで競争」

当日は、早朝より体育連絡会並びに運動会協力員皆様から準備をいただき、開会式では、昨年、美麻小中学校9年生が立案したゆるキャラ「麻野だいまる」が登場し会場を盛り上げて頂きました。

日ごろの運動不足からケガのないように準備運動を、元気アップ推進指導員の武田先生から、普段でもできるタオル運動などで体をほぐし競技が開始されました。



「市制施行60周年・合併10年記念美麻王決定戦」で、初代「美麻王」を目指して全員参加でジャンケンによる熱戦が繰り広げられ、千見の「松下京子」さんが美麻王、準王に息子の「松下暖」くんと親子で制覇。



6月7日 コミュニティ・スクール ボランティア研修会



文科省コミュニティスクールマイスターの岸裕司先生を講師として、6日は支援ボランティアが9名参加する中で市民科の授業を見学しアドバイスをいただきました。

7日は、支援ボランティアのできることや意義、心がけについて、元習志野市秋津小学校での経験からお話をいただきました。研修会の後、参加者で部会を開き、活動についての確認や話し合いを行いました。これから様々な支援活動が始めると思いますので、ぜひご参加ください。詳しくはコミュニティ便りなどでお知らせする予定です。

研修会に参加して

「人材活用ではなく、誰でもいい」「参加者みんなが楽しむ生涯学習の場に」といった岸先生のお話を聞き、自分の心の中にあった不安がずっと消えるのを感じました。

学校の先生方に誘っていただきボランティア登録をしたときも、研修会への参加を決めたときも「はたして私に出来ることはあるのだろうか？」と尻込みしていたのですが、研修会が進むにつれ「私も何かしたい」という高揚感に変わって行ったように感じます。

学校が抱える教職員の多忙さや、異動があるという現実を目を向け出せてもらい、改めて地域・家庭が子どもたちのためにやらなければならないことにも気づくことが出来ました。私もこれから義務教育のお世話になるであろう息子を持つ一人の母親です。ボランティア活動を通して母として人として、学び続けていきたいと思います。

(ボランティア 中山壘輝子)



美麻市民科進行中

今年の一月からスタートした総合学習ですが、おかげさまで順調に調査が進んでいます。

七年生の神社について調査しているグループは、富士浅間神社を見学させていただき、回り舞台も見せていただきました。「とてもおもしろかったし、いろいろわかってよかったです。」と興奮した様子でした。

九年生の美麻スイーツ開発部は、“麻野だいふくまる”という新スイーツの試作品を完成させました。美麻の特産品を生かしたスイーツを開発中で、詳細は完成まで秘密です。

それぞれのグループが地域の皆様の協力を得ながら、調査活動を進めています。地域の皆様のおかげで、とても深い研究になっています。また、取材のお願いに上がることもあるかと思いますが、どうぞよろしく願いいたします。



美麻市民科は、地域の方を講師に迎えて進められています。

2014 メンドシーノ交流事業

5月18日から23日まで、5・6学年20名と引率者10名で、メンドシーノ訪問交流を行いました。

今回は、マーシーさんを中心に元留学生のチェルシーさん、グロス先生やケイ先生など懐かしいメンバーにもサポートしていただきました。ロサンゼルス経由の初めての訪問でしたが、全日程これまでにない晴天に恵まれました。

子どもたちはホームステイではそれぞれの家庭で楽しく過ごせたようでした。

また、消防署ではかつて美麻訪問した子供たちが成長してボランティアをしていたり、学校交流では組体操の披露をしてみんなを感動させました。さよならパーティーの太鼓演奏では、アンコールまでありました。



訪問交流を終えて

美麻小中学校 塩島 学

子ども達20名、引率者10名の訪問団。副団長としての最大の責任は、子ども達を安全に帰国させることと承知していましたが、自身が不慣れな外国でホームステイ先で生活する子ども達の安全をどう確保できるか、など不安は拭えませんでした。しかし、訪問経験のある引率の方々や現地の方々の配慮と支援により、子ども達は交流を大いに楽しみ、安全に訪問を終えることができました。

本当に有り難いことでしたが、そこには長く継続してきた交流の経験知から生まれたノウハウが確固として存在するのだろうと感じました。

帰国前夜の反省会で、交流を継続していくことがとても大切であると述べました。そのためには、交流が子ども達にどのような成長をもたらしているのかを検証していく必要があること、学校が子ども達についた力を確かめ、維持・向上させていくことが求められるだろうと付け加えました。今後も美麻の子ども達の宝となる交流事業が継続されることを強く願い期待しています。



メンドシーノに行っ て感じたこと

6年 松下一步

メンドシーノに行き感じたことは、3つあります。1つ目はK-8スクールでぼくが英語をしゃべれなくてもみんなが、やさしく接してくれたこと。特に預けたクッキーを食べ終わった後、外でラクロスというスポーツに飛び入り参加しても、やさしく教えてくれました。

2つ目はホスト先です。朝起きたら英語で「おなか空いてる？」と聞かれ、パンケーキを焼いてもらって食べました。日本のホットケーキとは違いそれ単体だとそれほど甘くはなく少し塩系の味がしました。そこに、メイプルシロップをかけて食べると、甘くてとてもおいしかったです。3つ目はフリーティです。昔麻薬を運んだピンのかけらで、できたビーチに行ってガラスを拾いました。大きさや色に差がありとてもきれいでした。この3つの思いでを忘れないように毎日、生活していきます。



夢のメンドシーノへ

ボランティア 近藤さと美

今回のメンドシーノへの訪問は、22年前にホームステイを受け入れて以来、初めて参加させて頂く事ができました。出発の日から様々な出来事に遭遇しましたが、サンフランシスコへでマークさんらに出迎えてもらった喜びと、メンドシーノに夜11時近くになってしまったのに大勢の人達が出迎えてくれた事がより感動的でした。日本での私を覚えていた人、当然マーシーとの再会も言葉にできない程感動。

書ききれませんがメンドシーノは皆ボランティアで構成されている中で、あれだけの事業を続けている事に感動しました。この暖かい御恩を、来日する皆さんにお返しできるように美麻、



SNSで広がる交流

今年は、ホームページとフェイスブックを使用して情報発信を行いました。訪問団から送られてくる写真や動画には、多い日は1日に200件以上のアクセスがあり、多くの方がリアルタイムで交流事業に参加できたようです。

フェイスブック（美麻Wiki）でも、地域の情報を発信していますので、ぜひご覧ください。

アドレスは、

<http://www.facebook.com/miasawiki>



大町他皆さんへ、御恩を受けた事のある子供達、スタッフへと呼びかけて、ホームステイを受け入れていただきたいと思います。

本当に素晴らしい体験をさせて頂いた事に心から感謝したいと思います。



感動の交流事業の様子は、
ホームページ（美麻Wiki）
でご覧ください。
報告会を開催しますので、
ご近所お誘いあってお出
かけください。

6月8日 小中学校PTA作業

6月8日（日）の午前中に美麻小中学校PTA作業を実施しました。

当日はPTAに加え児童生徒も参加し、総勢150名を超える参加者で例年になく熱い作業が行えました。

作業の内容は、主に草刈、側溝の整備、メンドシーノ花壇の苗植え、グラウンドの草取り、剪定などで、参加された皆さんは、きれいな学校で学ぶ子供たちを想像しながら作業に汗を流していたと思います。



特に今年の作業は、人手不足で手のつかなかった場所まで整備が行われ、作業後の



皆さんは「例年になくグラウンドの草が全体的にきれいにとれた」、「この場所は初めて作業をしたが来年はどうなるか」、「側溝の整備はすごく大変なので人員を増やすべき」と来年の作業についての心配の声もありました。

今年から、コミュニティスクールに指定された美麻小中学校ですが、コミュニティ寄り等の地域部会においても学校のイベント等に地域の方も参加いただけるよう検討をしており、運営協議会からの情報を地域の皆様に発信し、より一層地域と学校がより一体となるようご協力をお願い申し上げPTA作業のご報告とします。

美麻小中学校PTA
環境委員長 北沢 直樹



作業後の全員そろっての記念撮影は壮観でした。

美麻小学校遠足報告 **歩いて地域を知る**



1、2年生で、鷹狩山へ遠足に行きました。5月も半ば、少しずつ気温が上がってきて、野生動物が心配される時期だったので、職員の他に、大塩地区にお住まいの森本さんがボランティアで引率してくださいました。さらに、森本さんのおうちで世話をしている犬のイワナ君も、一緒に子ども達の安全を守ってくれました。

往復6kmという道のりを、いろいろな草花を見つけたり歌を歌ったりしながら、元気よく歩くことができました。また、森本さんと話をしながら、イワナ君のリードを持たせてもらって歩く様子も見られ、とても励みになったようです。

山頂はあいにくのお天気で、お弁当は展望台の中で食べました。食べ終わる頃には、少しずつ天候も回復し、望遠鏡をのぞいて大町市内の様子を見たり、おにごっこをして遊んだりして楽しみました。

疲れた1年生を励ます2年生。転んでしまった友だちを心配する1年生。たくさんの優しい姿も見られ、心も体もひとまわりたくましくなった遠足になりました。

うまくいったね、 ひみつきち

千見城の遠足で莉央凧さんとところさんと萌花さんと私で秘密基地を作りました。木を集めるのに北沢公民館長さんが木を集めてくれたのでよかったです。あと武田先生も、梨子田先生も手伝いをしてくれたのでよかったです。いろいろな木を利用したら、ブルーシートをかけたら本当に秘密基地になると思います。7人の力が集まった秘密基地ができました。

4年 小林咲希



だいまる君がやってくる!

4月に登場してから、数々のイベントで活躍する麻野だいまる君が、あなたの地域のイベントにもやってくるかもしれません。だいまる君を見つけたら一緒に写真を撮ったり遊んだりしてくださいねだいまる君を呼びたい方は、美麻地域づくり会議事務局までお問合せください。

(電話29-2311)

市町村合併10年 記念事業を開催します

この事業は大町市・八坂村・美麻村の合併10年という記念の年を地域皆様と一緒に盛り上げるための事業です。

8月30日(土)美麻支所前にて「ふれあい祭り・美麻市・美麻いーとこよっとくれフェア」合同の「美麻夏まつり」の開催を予定しています。皆さんで合併10年記念を盛り上げていきましょう。



募集中! 記念事業公募のお知らせ

記念事業の一つとして、美麻地域づくり会議の会員団体が行う合併10年記念事業を対象に助成金を交付します。

1. 対象となる事業

合併10年記念にふさわしい事業で、平成27年2月末までに行われるもの

- ①政治団体や宗教団体の活動でないもの
- ②公序良俗に反しないもの
- ③地域づくり会議の名誉を傷つけ、または信用を失墜する恐れがないもの

- 2. 募集件数 5件
- 3. 助成上限額 10万円/事業
- 4. 募集期限 1回目:7月22日、
2回目:8月20日
- 5. 応募締め切り後、審査会を開き交付の可否の決定を行います。

■募集について、詳しくは事務局
(電話 29-2311)
までお問い合わせください。



今年で8回目を迎えるサイクルロードレースが、7月13日(日)に行われます。1周12.6kmの特設周回コースを走るロードレースは、コースが広範囲にわたることから、実行委員会では、交通整理などにご協力いただけるボランティアを募集します。全国トップレベルの自転車ロードレースの醍醐味を味わう機会でもあります。大勢の皆さんのご協力をお願いします。

■申し込み 7月4日(金)までに、電話または直接、実行委員会へ。

■開催日 7月13日(日)
午前7時30分~午後4時30分頃まで

◇ロードレース (美麻地区南部周回コース)
スタート/ゴール 新行グラウンド

■交通規制のお知らせ

▽競技中、コース内は時間制限の通行止めになります。通行止めの時間帯は、選手団が通過する、約10分間です。

▽コース内は、規制解除の広報車通過後、約10分間は競技と同じ方向に、一方通行できます。逆走はできませんので、ご注意ください。

▽競技中は、各交差点に係員を配置しますので、通行は係員の指示に従ってください。

■お問合せ先

大町美麻ロードレース実行委員会事務局
(美麻支所産業建設係内) 電話29-2311